



兼子裕代 写真展

ガーデン・プロジェクト

GARDEN PROJECT

光と土 — 持続する希望のために

2019.3.23 [土] - 28 [金] 入場無料 11:00 - 19:00
初日 13:30 開始 / 最終日 16:00 終了

九州大学大橋キャンパス デザインコモン 2階

2019.3.23 [土] 14:00-17:00

トークイベント開催

詳しくは裏面をご覧ください

九州大学ソーシャルアートラボ シリーズ「アートと社会包摂」公開講座

ガーデン・プロジェクトは、アフリカ系アメリカ人の弁護士キャサリン・スニードが1992年に始めたNPOです。サンフランシスコ郡刑務所第5庁舎に隣接した広大な敷地内で農園を運営し、元受刑者や低所得者、家庭環境に問題を抱える若者たちと共に農作業を行なっています。

ガーデン・プロジェクトで働く人々の動き、光や風、木々や花、土地から受け取る自然のエネルギー…。それらの瞬間を切り取り、自然や他者との共存の美しさを浮かび上がらせた写真家・兼子裕代の写真展を開催します。

兼子裕代 写真展

ガーデン・プロジェクト

GARDEN PROJECT

光と土 — 持続する希望のために



Hiroyo Kaneko

兼子 裕代 写真家

1963年青森県生まれ。現在カリフォルニア州オークランド在住。明治学院大学文学部フランス文学科卒業後、会社員を経てイギリス・ロンドンで写真を学ぶ。1998年より写真家、ライターとして活動。2003年サンフランシスコ・アート・インスティテュート大学院に留学、2005年同校写真科修士課程修了。2009年に家族の入浴を撮った「センチメンタル・エデュケーション」でアメリカ新人作家に送られるサンタフェ写真賞受賞。2019年秋には歌う人のポートレート・シリーズ「アピランス」刊行予定。

[活動歴] 東京国立近代美術館、フォトグラファーズ・ギャラリー（東京）、サンフランシスコ・カメラワーク、パークレー・アートセンター、フォトグラフィック・センター・ノースウエスト（シアトル）、長崎市立図書館、サンフランシスコ現代美術館、フィラデルフィア美術館、ニコンサロン（東京/大阪）、空連房（東京）など、日本、アメリカ両国で作品を発表する。主な受賞歴は、サンタフェ・プライズ・フォー・フォトグラフィー（2009）、フィラデルフィア美術館フォトグラフィ・ポートフォリオ・コンペティション（2012）、フォトグラフィック・センター・ノースウエスト・アニヴァーサリー・エキシビション最高賞（2017）。サンフランシスコ現代美術館、フィラデルフィア美術館に作品が所蔵される。

2019.3.23 [土] 14:00-17:00 トークイベント開催 トーク参加費：無料
(開場13:30) 定員30名(先着順)

トークイベント登壇者

Hiroyo Kaneko

兼子 裕代 写真家

Mika Kobayashi

小林 美香 写真研究者
東京国立近代美術館客員研究員

Kumiko Ohmatsu

大松 くみこ NPO法人産の森学舎 事務局長
みつばちおうちえん 園長

コーディネーター：**中村 美亜** 九州大学大学院芸術工学研究院 准教授

全体進行：**村谷 つかさ** 九州大学ソーシャルアートラボ学術研究員

* トークイベントでは、音声文字化するアプリ「UDトーク」を活用したリアルタイム字幕をご提供いたします。

* 会場ではエレベーターをご利用できます。

* その他、当日の配慮についてご要望等がありましたら、可能な範囲で対応いたしますので、電話もしくは申込フォームの「自由記述欄」にお書きください。

参加お申し込み・お問い合わせ

下記の項目を記載のうえ、メール・FAX のいずれかよりお申し込みください。またソーシャルアートラボ公式ホームページ内「CONTACT」からもお申し込みいただけます。

参加費：**無料**（要事前申し込み）

《記載事項》

- ① 氏名 ② フリガナ ③ メールアドレス
④ 所属（任意） ⑤ 受講の動機

トークイベント
応募締切
2019
3/20
[水]

九州大学ソーシャルアートラボ

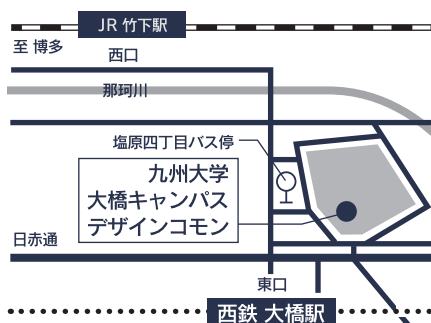
TEL/FAX 092-553-4552 MAIL sal-cul@design.kyushu-u.ac.jp

WEB <http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp>

ソーシャルアートラボ

写真展・トークイベント会場

九州大学大橋キャンパス デザインコモン2階



福岡市南区塩原 4-9-1

大橋駅より徒歩約5分。

正門を入れて
左手の建物です。

九州大学ソーシャルアートラボ

九州大学ソーシャルアートラボは、社会の課題にコミットし、人間どうしの新しいつながりを生み出す芸術実践を「ソーシャルアート」と捉え、新しい生の価値を提示していくことを目的としています。平成30年からは、「アートと社会包摂」をテーマに研究・教育・実践・提言の多方面から取り組んでいます。ウェブサイト：<http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp/>

主催：九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアートラボ

共催：公益財団法人福岡市文化芸術振興財団

助成：平成30年度文化庁大学における文化芸術推進事業

後援：日本アートマネジメント学会九州部会



九州大学



大学院芸術工学研究院
大学院芸術工学府
芸術工学部

